

ISOM'17 報告



ISOM'17 会場となったくにびきメッセ

ISOM は、1985 年にスタートした SOM (Symposium on Optical Memory) を母体に 1987 年から継続的に開催されている国際学会であり、今年 (2017 年) は 10 月 22 日 (日) ~25 日 (木) の会期で、松江市のくにびきメッセにおいて開催された。新しい領域への展開を反映して、今回から正式名称を ISOM (International Symposium on Optical Memory) から ISOM (International Symposium on Imaging, Sensing, and Optical Memory) に変更している。当協会は ISOM スタート時からのスポンサーであり、今年も共催団体として小谷副理事長以下関係者が出席した。

ISOM における研究発表分野は、従来の光メモリ技術からイメージング、センシングを含む幅広い領域に拡張され、各分野の研究者から最新の研究成果が紹介された。

今回の ISOM'17 の参加者数は 105 名であり、開催国の日本と、韓国、台湾、中国、シンガポール、ドイツからの参加があった。

ISOM'17 国別参加者数

日本	韓国	台湾	中国	シンガポール	ドイツ	合計
83	5	12	2	2	1	105

応募論文数は 59 件で、日本、韓国、台湾に加え中国からも応募があった。招待講演、ポストデッドラインペーパーを含めた 78 件について、3 つのスペシャルセッション (Bio-sensing, Computational Imaging, Holography Applications) を含む 14 のセッションにおいて口頭発表とポスターセッションが行われ、活発な討議が繰り広げられた。

毎年恒例となっている特別招待講演としては、台湾・Jasper Display 社の Dr. K. Tai より “Digital Electro-optics Platform (X-on Silicon)” と題する講演が行われた。

ISOM'17 国別応募論文数

日本	韓国	台湾	中国	シンガポール	米国	欧州	合計
41	3	9	2	1	2	1	59

今後も ISOM は、光メモリ技術をコアとしながらも関連する幅広い技術領域における最新の研究成果発表、技術交流の場として、技術・研究の発展に貢献していくことが期待されている。次回の ISOM'18 (<http://isom.jp/ISOM18%20First%20call%20for%20paper.pdf>) は、北九州市の北九州国際会議場において 2018 年 10 月 21 日（日）～24 日（水）の会期で開催される予定である。



Oral Session Hall



Poster Session



ISOM'17 参加者集合写真